

ARIBの動き

第147回技術委員会(放送分野)が開催される

第147回技術委員会（放送分野）が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時 平成20年7月23日(水)午後2時00分～4時00分まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

- (1) 放送国際標準化ワーキンググループ座長から放送国際標準化ワーキンググループの活動について報告がありました。
- (2) 事務局から第4回日伯共同作業部会会合について報告がありました。
- (3) 事務局からARIBが事務局を務める任意団体の動向について報告がありました。
- (4) 事務局からGSC-13/GRSC-6会合の概要について報告がありました。
- (5) 事務局からICT国際協力部の設置について報告がありました。

GSC-13/GRSC-6会合が開催される

世界の電気通信の標準化機関の代表者及び専門家が、標準化を進める上で必要となる協力関係を一層緊密なものとするためのGSC-13/GRSC-6 (13th Global Standards Collaboration/6th Global Radio communication Standards Collaboration) 会合が、米国の標準化機関ATIS (Alliance for Telecommunications Industry Solutions)のホストで、7月14日から7月17日までの4日間、歴史と伝統の街である米国・ボストン市のウェスティン・コープレイ・プレースにおいて開催されました。

本会合は、参加標準化機関間の情報交換、協力促進並びにITUにおけるグローバルな電気通信標準化プロセスを促進することを目的としており、今会合のスローガンは“Transforming the Network through Global Collaboration”でした。

今会合には、米国のATISとTIA (Telecommunications Industry Association)、カナダのISACC (Information and Communications Technology Standards Advisory Council of Canada)、欧州のETSI (European Telecommunications Standards

Institute) 、中国のCCSA (China Communication Standards Association) 、韓国のTTA (Telecommunications Technology Association) 、ITUやその他の標準化機関、並びに日本のTTCとARIBを含め、105名が参加しました。オーストラリアのCommunications Allianceは前会合に引き続いて不参加となりました。

ARIBからは、若尾専務理事を団長に5名が参加し、ARIBおよび日本の無線通信分野の主要トピックス紹介のほか、「IMT-Advancedの標準化」、「無線アクセスシステムの開発」、「ワンセグとモバイル放送」、等に関する活動状況の寄与文書などを提出しました。

また、前会合でGRSCの下に設置されたIMT-Advancedに関する情報・意見交換を行うためタスクフォースの活動報告を本件に関する責任標準化機関の立場で提出しました。

一方、今会合では、会合運営の改革を目指して、いくつかの新しい試み（日程の短縮、プレゼンテーションを行って意見交換を行う重要課題HIS (High Interest Subject) と資料提出のみの課題ISS (Information Sharing Subject) に分別、パネルディスカッション形式のプレゼンテーション、等) を実施し、一応の成果を挙げました。

本会合の成果として、26件の決議 (TTC提案の「ICTと環境」とCCSA提案の「ICTの管理と運用」の2件の新決議を含む) を採択すると共に、今回会合のミッション、構成、重要議題、成果並びに次回会合のアナウンスなどを記載したコミュニケをリリースしました。

また、次回第14回会合は、2009年7月13日～16日にスイス・ジュネーブでITUのホストで実施することが決定されました。

なお、詳細については<<http://www.gsc.etsi.org/>>をご参照ください。



参加団体の代表者



A T I S 代表 S. Miller 女史の開催挨拶



G S C 参加団体代表者による
パネルディスカッション



G R S C 会合の議長団

CEATEC JAPAN 2008の開催とARIB出展のお知らせ

通信・情報・映像が融合したデジタルネットワーク時代を反映し、最新の技術、製品、システム、ソフトを一堂に集めその成果を情報発信する、業界を挙げてのアジア最大級の規模を誇る映像・情報・通信の国際展示会「CEATEC JAPAN 2008」が、幕張メッセで開催されます。

当会は同展示会に協賛するとともに、ARIBブースを設け展示を行います。ぜひお立ち寄りください。

1 会期

- (1) プレミアムタイム：9月30日（火）午前10時～正午
- (2) 一般公開日：9月30日（火）正午～午後5時
10月1日（水）～10月4日（土）午前10時～午後5時

2 ARIB出展の概要

(1) 出展場所

ビジネス&ソサエティゾーン、デジタルネットワークステージ、展示ホール5の小間番号5B49



(2) 出展内容

- ア ARIBの活動紹介（ARIBの概要、国際普及活動、照会相談業務等）
- イ 通信・放送分野における最新の研究開発状況の紹介
- ウ インターネットによる標準規格と技術資料の提供（Down Load）の紹介と実演

3 会場

幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

4 入場

9月21日までにインターネットで展示会入場事前登録を行うと、入場証が郵送されてきます。入場料(¥1,000)が無料になると共にスムーズに入場できます。

詳細については、下記URLのCEATEC JAPAN Official Members Siteを参照願います。

<<https://service.ceatecjapan.net/ja/>>

5 会場へのアクセス等

詳細については、下記URLのCEATEC JAPANホームページを参照願います。

<<http://www.ceatec.com/2008/ja/index.html>>

電気通信・放送
行政の動き

「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方 に関する懇談会報告書」の公表 (平成20年7月15日総務省報道発表)

総務省は、平成19年8月2日から「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会」（座長：根岸哲 甲南大学法科大学院教授）を開催し、平成23年の地上テレビジョン放送のデジタル化による空き周波数帯を利用した携帯端末向けマルチメディア放送サービスの在り方について検討を行ってきました。今般、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会報告書」が取りまとめられましたので、公表いたします。

1 経緯

総務省では、平成19年8月2日から「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会」を開催し、平成23年の地上テレビジョン放送のデジタル化による空き周波数帯を利用した携帯端末向けマルチメディア放送が、同年以降速やかにサービス提供できるよう制度環境の整備に資することを目的として、その事業化に向けてのビジネスモデルや社会的役割の在り方、制度的・技術的課題について検討を行ってきたところです。

本懇談会で取りまとめられた報告書（案）について、本年5月24日（土）から6月23日（月）までの間意見募集を行ったところ、97件のご意見が寄せられました。

今般、寄せられたご意見を踏まえ、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会報告書」が取りまとめられましたので、公表します。

2 概要等

報告書の概要、報告書本文及び参考資料、意見募集結果及びそれに対する考え方などの詳細については、下記URLの総務省報道発表資料を参照願います。

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080715_4.html>

梅雨明けして毎日暑い日が続きますが読者の皆さんいかがお過ごしですか。夏は夏らしく暑いのは結構ですが、せめて夜だけは涼しさを求めたいものですね。

過日所用の帰りに第一京浜（国道15号）を走行中に不思議なものがあつたので車を停めてみました。近寄ってみると「生麦事件の碑」でした。

生麦事件。はるか昔に学校で習った出来事でした。出来事の名前は知っていてもこのような碑があることは知りませんでした。テレビドラマの篤姫を楽しく見ておりますが、これからの篤姫が更に興味あるドラマになりました。碑は鶴見区にある有名ビール工場の近くです。興味のある方は足をお運び下さい。

（澤井 利和）

